様式第１号（第３条関係）

（表面）

|  |  |
| --- | --- |
| 二級 | 建築士免許申請書 |
| 木造 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ※受付欄 | ※登録番号 | 第　　　　　　　　　　　号 |
| ※登録年月日 | 年　　月　　日 |
| 私は、 | 二級木造 | 建築士の免許を受けたいので、本籍の記載のある住民票の写しを添え、申請します。 |
| 私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。年　　　月　　　日福井県知事（指定登録機関）　　様 | 氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| ふりがな |  | 生年月日 | 年　　月　　日生 | 性別 | 男□　　女□ |
| 氏名 |  |
| 本籍 |  | 写真１　　縦4．5センチメートル、横3．5センチメートルの写真の裏面に氏名および撮影年月日を記入してのりで貼り付けてください。２　貼付した写真は免許証に転写されます。 |
| 現住所 | 〒　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話 |
| 試験 | 二級建築士試験または木造建築士試験に合格した年 | 年 |
| 合格通知書日付 | 年　　月　　日 | 合格番号 | 号 |
| 登録申請区分 | □１　学歴のみ　　　　　　□２　学歴＋建築実務　　　　　　　　□３　建築実務のみ□４　建築設備士　　　　　□５　建築士法第４条第５項 |
| １　学歴のみにより申請する場合のみ記入 | 学校名 | 学部名・学科名 | 入学・卒業（修了）年月 |
|  |  | 年　　月入学年　　月卒業(修了) |
|  |  | 年　　月入学年　　月卒業(修了) |
| ２　学歴＋建築実務により申請する場合のみ記入 | 学校名 | 学部名・学科名 | 入学・卒業（修了）年月 | 建築実務経験期間の合計 |
|  |  | 年　　月入学年　　月卒業(修了) | 年　　　月 |
|  |  | 年　　月入学年　　月卒業(修了) |
| ３　建築実務のみにより申請する場合のみ記入 | 建築実務経験期間の合計年　　　月 |
| ４　建築設備士により申請する場合のみ記入 | 建築設備士登録番号・登録年月日 | 登録番号　　第　　　　　　　　　　　　　号登録年月日　　　　　　　年　　　月　　　日 |
| ５　建築士法第４条第５項により申請する場合のみ記入 | 免許名称 | 免許者名 | 免許の年月日 | 資格認定書の年月日 |
|  |  | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |

（裏面）

|  |  |
| --- | --- |
| 欠格事由 | １　禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。　　　　　　　　　　　　ある□　　ない□あるときはその罪および刑あるときはその刑の執行を終わり、または執行を受けることがな　　　　　年　　月　　日くなつた日２　建築士法の規定に違反して、または建築物の建築に関し罪を犯し　　　ある□　　ない□て罰金の刑に処せられたことがありますか。あるときはその罪および刑あるときはその刑の執行を終わり、または執行を受けることがな　　　　　年　　月　　日くなつた日３　建築士法第９条第１項第４号または第10条第１項の規定により一　　　ある□　　ない□級建築士、二級建築士または木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。あるときは、その日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日４　建築士法第10条第１項の規定による業務の停止の処分を受け、そ　　　ある□　　ない□の停止の期間中に同法第９条第１項第１号の規定により一級建築士、二級建築士または木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 |
| 業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間５　精神の機能の障害により二級建築士または木造建築士の業務を適正に行うに当たつて必要な認知、判断および意思疎通を適切に行うことができない状態ですか。 | 年　　月　　日から年　　月　　日まではい□　　いいえ□ |
| 福井県証紙貼付欄（消印しないこと。) |
| ※審　査 |

注

１　数字は、算用数字を用いてください。

２　※欄は記入しないでください。

３　□のある欄は該当する□の中にレ印を付けてください。